

テュートリアル課題 赤ちゃんの便はどんな色

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/29122

2008 年度 Block. 6 前期

課 題 No. 1

「赤ちゃんの便はどんな色」



無断で復写・複製・転載すると著作権侵害となる場合がございますのでご注意ください。

内山 温 (母子センター)

シート1

赤井さんの赤ちゃんは予定より3か月近くも早く生まれました。分娩室で赤ちゃんを抱っこしたお母さんは「なんて小さな赤ちゃんだろう」と思いました。その後すぐに赤ちゃんは、治療のため Neonatal intensive care unit (NICU) に入院しました。

教材と資料

教材1: 出生時体格基準曲線

シート2

赤井さんは切迫早産で陣痛抑制が困難であったため、赤ちゃんは在胎期間 28 週 2 日で生まれました。出生体重 1150g の男の子でした。出生後 1 分後、5 分後の赤ちゃんの状態はそれぞれ以下の様でした。

1 分後：呼吸は弱々しく、不規則でした。四肢はやや屈曲させている程度でした。分泌物を吸引するため鼻腔内吸引をした時には、少し顔面をしかめるようなしぐさをしました。心拍数は 160 回/分でしたが、皮膚色は全身のチアノーゼが見られたため酸素投与を開始しました。

5 分後：呼吸状態は少し改善しましたが、まだ弱々しい状態でした。四肢の屈曲の状態、鼻腔内吸引 に対する反応も変わりませんでした。心拍数は 140 回/分で、皮膚色は四肢末端にのみチアノーゼが見られました。

教材と資料

教材 2: アプガースコア表

シート3

NICU に入院時は、脈拍 140 回/分、呼吸数 48/分、血圧 40/25mmHg、体温 36.0℃でした。
保育器に入り酸素投与が始まって、赤ちゃんのチアノーゼは改善してきましたが、時々うなり声が聞こえます。NICU に面会に入った赤井さんのご主人は赤ちゃんの胸がペコペコへこむのが気になります。体にたくさんの器具や点滴がついていました。

教材と資料

教材 3: 低出生体重児と正常出生体重児の全身写真(カラー写真)

シート4

赤井さんの赤ちゃんはいくつか検査を受けました。新生児科の青井先生から「赤ちゃんは予定より早く生まれたため呼吸の状態が十分ではありません。気管に管を入れて呼吸を助けてあげようと思います」とお話がありました。

教材と資料

資料 1: 血液検査データ; 血液ガス検査

資料 2: 血液検査データ; 血算・生化学・血清検査

教材 4: マイクロバブルテストの写真(白黒写真)

呼吸窮迫症候群(症例; weak)と正常(strong)の違いを学ぶ。

教材 5: 胸部エックス線写真(治療前、治療後)

呼吸窮迫症候群の所見、治療効果を理解する

シート5

分娩翌日、赤井さんははじめて面会にはいりました。赤ちゃんは人工呼吸を受けていましたが、主治医の青井先生から、「呼吸状態は順調に改善してきています。そろそろお鼻に入れた細いチューブから母乳をあげましょね。まだミルクの消化が十分には出来ないので、母乳が必要です」と言われました。

まわりを見ると、小さな赤ちゃんが何人もいました。医療機器もたくさんあり、赤井さんのお母さんはびっくりしました。さらに、赤井さんより2か月以上前に生まれたのに、まだ保育器にいる赤ちゃんもいて心配になってきました。しかし、青井先生から、今からちょうど退院する赤ちゃんが、赤井さんと同じように予定日より3か月早く生まれたのだと聞いて少し安心しました。

教材と資料

教材6: NICU 内の写真(カラー写真)

シート6

赤井さんはまだ母乳が十分に出ないため、生後2日より、青井先生は慎重に人工乳で経鼻経管栄養を開始しましたが、胃内吸引からは胆汁の混じった液が引けるようになりました。人工乳の注入は中止しましたが、その後も胆汁の混じった吸引物に加えて、血液も混ざるようになりました。お腹も膨らんでいます。赤井さんが面会にきているところで、赤ちゃんが排便しましたが、便の色が黒褐色(タール便)であったためびっくりしました。

教材と資料

資料3: 血液検査データ;血液ガス検査

資料4: 血液検査データ;血算・生化学・血清検査

教材7: 腹部エックス線写真

シート7

赤井さんの赤ちゃんは、絶食となりました。中心静脈栄養に加えて抗菌薬を投与して経過を見たところ腹部膨満も改善し、胃内吸引物も引けなくなりました。さらに血便も見られなくなり、血液検査で見られた異常所見も改善してきました。赤井さんもこの頃には母乳が出るようになっていたので、母乳で経鼻経管栄養を再開しました。その後は順調に母乳を増量できました。生後 10 日に、赤井さんの赤ちゃんは、正太郎と名付けられました。

3 か月後、正太郎君は体重も増え 2kg を越えました。赤井さんは正太郎君の退院の日を楽しみにしながら、毎日面会に通っています。

教材と資料

資料 5: 血液検査データ; 血液ガス検査

資料 6: 血液検査データ; 血算・生化学・血清検査